

ガスセンサ技術を活かして 安全社会に貢献

納期
相談
オンリー
ワン技術
試作可
小ロット
産
地
対
応



センサ技術を活かした自社製品

業務内容

高品質半導体ガスセンサで
メーカーの信頼を得る

半導体ガスセンサや警報機ユニット、アルコールチェッカー等、センサ技術を活かした製品の受注生産を行う荒木産業。同社はメーカーから部材を受け入れ、組立、検査、測定までトータルに加工している。

近年では、大学と連携して高濃度水素測定機の研究に取り組み、4万ppmを超える高濃度水素を1000v o 1%まで測定可能な水素測定器の開発に成功した。ここにも同社のセンサ技術が活かされているのだ。

強み

超極細の線を加工
品質管理体制も万全

同社が最も得意としているのが微細加工だ。現場では自動機と顕微鏡を駆使して加工している。「日本人の細やかな感性だからこそこできる」と荒木社長。海外には負けないメイドインジャパンの匠の技に誇りを持つ。

しかも、その微細加工を支えているのは、多くがパートの女性従業員だという。「すべてのパート従業員がQC検定4級以上の認定を受けています。ガスセンサは人の命を守るものですから、品質管理は徹底しています」。



独自に開発・設計した設備

自社製品

センサ技術を活かし
自動換気扇を開発

今まではガスセンサメーカーの委託生産を中心にしてきた同社だが、近年は自社製品の開発にも着手している。

平成24年に完成したのが、自動換気扇「オートリフレッシュ」だ。たばこや焼き魚の煙、アルコールや化粧品匂い等、空気の汚れを感知するガスセンサと、室内温度を感知する温度センサを内蔵しているため、必要な時にだけ自動で動く、エコにも役立つ商品だ。本体は高さ85mm、幅74mmと小さいが、12畳程度の広さの部屋にも対応可能。換気扇のプラグとコンセントの間に取っつけるだけで、部屋の空気をリフレッシュしてくれる優れものである。

また、室温30度で換気扇が作動するため、熱中症対策としても期待できる。すでに通販会社が目し、取り扱いは始まっている。

今後の展望

快適な暮らしのために
自社の強みを発揮したい

「水素測定機やオートリフレッシュ等、半導体ガスセンサのノウハウをもっと活かしたい」と語る荒木社長。同社では営業と開発部門を強化し、オリジナル製品の開発に力を入れたと考えている。

環境問題、生活臭等、より快適な暮らしのために、まだまだできることがあるはずだ。そのためのアイデアも出し合っている。安全・快適な暮らしのためになくてはならない企業として、ますます存在感が高まるだろう。

COMPANY PROFILE

荒木産業株式会社

大阪
24
ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

昭和23年に靴や袋物の縫製業としてスタートし、大手メーカーのラジカセの布製キャリングケースの縫製やベビーカーのシートの製造等も手掛けてきました。私はガスセンサ関係の人たちとの出会いをきっかけに、昭和58年にガスセンサ部門を立ち上げました。現在はガスセンサー本に取り組んでいます。今後も社会のお役に立つ企業として頑張りたいと思います。

私たちは「オンリーユー」企業を目指しています。

代表取締役 荒木 健治さん



■主な事業内容

半導体ガスセンサ・センサ応用製品の開発・組立・アッセンブリー等

■主な取引先(納入先)

半導体ガスセンサメーカー等

住所/〒544-0015

大阪市生野区
巽南4-5-2

TEL / 06-6791-7577

FAX / 06-6791-5774

創業 / 昭和23年10月

設立 / 昭和58年10月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 50名

<http://www.arakisangyo.co.jp/>